

世田谷区教育委員会

教育長 知久孝之 様

世田谷区立中学校PTA連合協議会
会長 栗花落 久子

令和7年度 予算編成に向けて
『教育条件整備に関する要望書』

清秋の候、世田谷区教育委員会教育長知久孝之様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より区立中学校教育の充実や発展のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。世田谷区立中学校PTA連合協議会の活動につきましても、ご理解、ご支援、ならびにご協力を賜り重ねて感謝申し上げます。

さて、世田谷区教育振興基本計画において「幸せな未来をデザインし、創造するせたがやの教育」という教育目標が掲げられています。この目標に基づいて多くの施策が実行され、よりよい学校教育がなされることは我々の強い願いでもあります。

しかし、今日、学校や教職員が抱える課題はますます複雑化、多様化しています。これまでの知識や技能だけでは予測困難な未来を生きる子どもたちに、進んで自ら考え、協力し、課題を解決していく力を身につけさせ、未来への希望を持てるような教育をさらに推し進めていってほしいと考えます。

そのためには、学校を取り巻く安心安全な環境づくりや教育の仕組みの改善が不可欠です。子どもたちを育てる学校・家庭・地域が連携の充実をし、日々の教育活動ができるような仕組みを作っていただきたいと思います。

世田谷区立中学校PTA連合協議会では、「教育条件整備に関する要望事項」を整理し、下記のような項目別にまとめました。

- 1 学校教育環境の充実・整備に関する要望
- 2 学校施設・設備の整備と安全に関する要望
- 3 部活動に関する要望
- 4 地域の教育環境、PTA活動環境の整備に関する要望
- 5 いじめや不登校の問題に関する要望
- 6 その他

今後とも教育委員会と世田谷区立中学校PTA連合協議会との連携を大切に、子どもたちの未来のために、世田谷区の教育が発展していくことを希望します。

令和7年度 教育条件整備要望書

1 学校教育環境の充実・整備に関する要望

近年、生徒を取り巻く環境の変化により、先生方には、人間関係形成や生徒の心の育成、保護者への対応など、学力の向上以外にも生徒一人ひとりへの多様できめ細やかな教育が求められています。しかし、先生方が生徒個々に対応する時間は少なく、先生方の指導力を十分に発揮するには難しい現状があります。生徒一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばす教育理念を形あるものにできるよう、下記の事項を要望します。

社会の情報化が急速に発展する中、生徒が情報社会において、正しい知識を身につけ、活用していく事は当たり前となりつつオンラインでの授業や保護者会、各種会議が行われるなど環境は急速に変化をしています。生徒一人に一台のタブレット、現状ではそのタブレットの機能を十分に活かすことができていません。生徒の持ち物の多いことによる体への負担等を考慮し、デジタル教材の活用を訴える声も引き続き多数上がっています。先進的にICTを使用した学習支援を行っている世田谷区だからこそハード面だけではなくソフト面においてもICT教育の充実と環境の整備を引き続き要望します。

(1) ICTの活用の充実（継続）

- ①学校による環境に差が出ないよう、各校の取組や活用方法の状況共有、統一化を要望
- ②タブレットを使用したアクティブラーニングの授業の増加を要望
- ③当該分野に詳しいICT支援員の増員、配置時間の増加、常駐を要望
- ④教科書、資料、プリント、ノートなどのデジタル化を要望

(2) 教職員の増員（継続）

- ①全クラス、担任・副担任の2名体制、習熟度別クラスや支援を必要とする生徒対応など、生徒人数に対する教員の増員を切に要望
- ②スクールサポートスタッフの増員を要望
- ③学校包括支援員の複数配置を要望
- ④教育委員会で教職員を探すなどの対策を要望
- ⑤スクールソーシャルワーカーの設置を要望
- ⑥スクールロイヤーの実働実績、実情をできる範囲で明示を要望

(3) 少人数教育・授業（継続）

- ①35人以下学級の全校、全学年での実現を要望
- ②実践的な英語教育の充実を図るため、外国人教師、ALTの常勤配置、増員や、教員条件の柔軟化に向けた働きかけを要望
- ③主要5教科の習熟度別少人数制の授業を要望
- ④学習の遅れ、学習障害への個別支援を行うための人員配置の増員を要望

(4) 特別支援教育の充実（継続）

- ①特別支援、不登校対応スクールの新規開設を要望
- ②特別支援学級のさらなる充実のため、教員の増員を強く要望

(5) 別室の設置（新規）

- ①みんなと教室にすることがつらい生徒や、学習についていけない生徒をフォローするため、普通教室以外の別室を設置し、スタッフを配置してほしい

(6) その他（継続・新規）

- ①教職員の負担を減らすため、会計、事務、学校徴収金担当などの外部委託を要望（新規）
- ②人材確保のために、区費講師の報酬を都費講師と同等かそれ以上にしてほしい（新規）
- ③英語教育の充実を目指しプログラム参加料や英検等の受験料の補助など予算を増強してほしい（継続）
- ④教職員のメールアカウント設定を要望（新規）

2 学校施設・設備の整備と安全に関する要望

時代の移り変わり、環境の変化など、これまでとは違う環境の整備が求められていることは学校教育においても例外ではないと感じます。各学校の地域性、立地などの環境はそれぞれ異なりますが、世田谷区全体の問題として、各校において早急な対応が求められていることも多くあります。特に近年の異常な気温上昇による熱中症対策として、また地域の避難所として近年多発する自然災害に備えるためにも、空調設備の強化、学校施設の点検と改修、全てのトイレの洋式トイレ化、バリアフリー化などを求める声が多く上がっております。世田谷区の施設として、地域と共にある学校として、下記の事項を引き続き要望します。

(1) 通信ネットワーク環境整備の充実（継続・新規）

- ①体育館や格技室、専門教室など、校内全ての部屋への Wi-Fi 設備の設置と、端末数に制限なく使用できるように高速大容量通信ネットワークの整備を要望〈継続〉
- ②タブレット端末の機能向上、学校にタブレット用充電ステーションの設置を要望〈継続・新規〉
- ③TV モニターでは反射して見え難い角度があるため、大きな見やすい電子黒板等の導入を要望〈継続〉

(2) 校舎内外・体育館（格技場含む）の点検と改修（継続・新規）

- ①生徒が安全な環境で学べ、かつ地域の避難所として近年多発する自然災害に備えるためにも、各学校の現状を把握し、校舎内外の老朽箇所の点検、補修、改修などの計画を明確化することを要望〈継続〉
- ②校舎内外のバリアフリー化を要望〈継続〉
- ③換気設備や空調設備など、更衣室の環境改善を要望〈新規〉

(3) 熱中症対策のための設備充実（継続）

- ①生徒が安全に活動でき、かつ地域の避難所として備えるため、近年の異常な気温上昇による熱中症対策として、体育館および校舎の空調設備のさらなる増設と機能強化、および計画の明確化を早急に強く要望〈継続〉
- ②体育館および校舎の空調設備の点検・整備、故障に対する迅速な対応を要望〈継続〉
- ③日除けのためのテント、ミストシャワーなどの購入・設置を要望〈継続〉
- ④給水機の設置を要望〈継続〉

(4) プールの環境整備（継続・新規）

- ①熱中症予防、要救護者の避難場所として、プールサイドに屋根付きの日除けの設置を要望〈継続〉
- ②プール設備（更衣室、トイレ含む）の改修、更衣室の暑さ対策を要望〈継続〉
- ③目隠しのフェンスや屋根の設置など、防犯対策の強化・プライバシーへの配慮を要望〈新規〉
- ④全国的にプール教育の見直しが進んでいます。世田谷区として今後の方針を知らせてほしい〈新規〉

- (5) 全てのトイレの洋式トイレ化、トイレ設備の増設・改修（継続）
 - ①全てのトイレ（体育館含む）の洋式トイレ化、および計画の明確化を要望〈継続〉
 - ②洋式トイレの増設、改修を要望〈継続〉
- (6) 校庭の改善（継続・新規）
 - ①校庭の起伏・陥没箇所や水はけ、スプリンクラーなどの点検、整備・改善を要望〈継続〉
 - ②校庭の照明器具の設置・増設を要望〈継続〉
 - ③校庭の放送設備の改善を要望〈新規〉
- (7) 給食について（継続・新規）
 - ①給食センター方式から自校調理方式への変更を要望〈継続〉
 - ②給食センターのトラブルに対する対応改善を要望〈新規〉
 - ③成長期に対する味の改善、米食の推奨を要望〈新規〉
- (8) ロッカーの設置（継続）
 - ①各教室および更衣室にロッカーの設置を要望〈継続〉
 - ②部活用ロッカーの設置を要望〈継続〉
- (9) 防災関係の要望（継続）
 - ①防災用折り畳みヘルメットの完備を要望〈継続〉
- (10) 防犯・警備（継続）
 - ①不審者情報が増加している中、学校関係者以外でも誰でも自由に出入りでき、訪問チェックもできていない現状を鑑み、警備員配置、電子錠の設置などのセキュリティ強化、不審者の入校を未然に防ぐ仕組み作りを強く要望〈継続〉
 - ②防犯カメラの増設を要望〈継続〉
- (11) その他
 - ①部活動や体育館の設備・備品に使える予算の増額を要望〈継続〉
 - ②その他
 - ・冷水器の水質が安全なものであるという説明および水質の管理方法についての情報提供
 - ・携帯電話の保持の許可

3 部活動に関する要望

部活動の充実には、専門的指導と顧問教員の異動などで変わることのない環境の継続が必要です。中学生生活において部活動を通じての練習・試合・他学年との交流は体力向上や技術の獲得のみならず人格育成や社会での在り方を考える上で重要な活動になります。一方で顧問や関係する先生には長時間の拘束、土日曜日・祝祭日の出勤など、かなりの荷重となっている現状も問題の一つとなっております。教育委員会の示すガイドラインもあるように、生徒の健全な成長に悪影響を及ぼすような指導なく、部活動に励むことができることも重要と考えます。教える側と教わる側の双方が、負担のない環境で幅広い充実した部活動に取り組めるような支援を要望します。

- (1) 部活動支援員制度の充実と待遇改善（継続）

- ① 部活動運営において部活動支援員は顧問教員の負担を軽減する大きな担い手となっていますが、必要な人員を手配するには学校配当予算が未だ不十分。部活動支援員の配置、増員などを要望（継続）
 - ② 部活動外部指導員確保のため、区による斡旋などサポートシステムの構築を要望。
また、部活動の地域移行の方向性を明確にしてほしい。（継続）
 - ③ 部活動外部指導員、技術指導ができるコーチを呼ぶための資金援助を要望。また謝礼単価などに関してもさらなる増額を要望（継続）
- （２）部活動備品や用具の充実・メンテナンスなどに伴う予算の増額（継続・新規）
- ① 充実した部活動を行うために必要な楽器や用具、備品などの購入費、メンテナンス費に充当する予算として各校に２０万円配当継続、増額を要望（継続）
 - ② 運動施設設備の早急な改修、工事中の練習場所の確保のため運動施設の貸し出しなどを要望（新規）
- （３）顧問教員の待遇改善（継続）
- ① 顧問教員の待遇改善、手当拡充を要望（継続）
- （４）その他
- ① 交通費の補助、諸経費の増額を要望（新規）
 - ② 部活動のために越境入学するのは子どもの負担が大きいため、他校の部活動に参加できるようにしてほしい（新規）
 - ③ 部活動で利用できる場所、施設の確保を要望（テニスコート/プールなど）（継続）
 - ④ 部活動時の養護教諭常駐、大会等派遣看護師制度を要望（継続）
 - ⑤ 遠征時の携帯電話携帯についての区の方針明示を要望（継続）
 - ⑥ 合同部活動実現を要望（継続）

４ 地域の教育環境、PTA活動環境の整備に関する要望（新規・継続）

生活の多様化により地域の活動、PTA活動も変化しており、無理のない活動が求められています。そのような状況の中で、どのようにすればより子供達の成長に即した活動が出来るか模索しており、その為の支援を必要としております。また、近年学生の学びの場は学校にとどまらず、地域や民間企業の協力を視野に、より広い世界での活躍を見据えた教育環境、及び地域の特性を生かした学びの場の確保を希望します。

- ① 図書館の設立、外国語本などの充実、勉強スペース確保を要望（継続）
- ② 学び舎小学校中学校との連携強化、近隣高校、大学との交流を要望（継続）
- ③ インクルーシブ教育として、各校への特別支援学級の設置を要望（新規）
- ④ 地域開放施設として、学校内に中学生が利用しやすく集まれる場所の増設を要望。また学習面においても、自習室等の設置や地域人材の活用を検討してほしい（継続・新規）
- ⑤ 世中Ｐ連や各校 PTA 活動のスリム化や、時代にあった活動への改善方法について区からの提案を要望（継続）
- ⑥ 区立中学全体で利用できる会費集金システムの構築について、教育委員会からの働きかけを要望（継続・新規）
- ⑦ 学校における地域連携推進のために、学校の全室（体育館含む）への Wi-Fi の完備、地域団体が活用できるパソコンの設置など、通信環境の整備を要望（継続）
- ⑧ 学校運営委員会や学校運営協議会、PTA などの役割分担や関係性がよく分からず、困り事の相談や、提案をどこにすれば良いか分からない。何か問題が発生した際に、初動を効率的に行い、問題が小さいうちに解決に導くため、『各所から上がった相談や意見はどこを通過してどのように関係各所に割り

振られて届くのか』といったプロセスを、初めての方にも分かりやすいように、教育委員会から詳らかに周知してほしい。（新規）

- ⑨ オンラインミーティングを活発に行えるよう各校共用の Zoom アカウントの取得を要望。
また、Zoom 等のアカウントを、学校をまたいで利用する場合、登録者のみアクセスできる利用の方法といった使い方のガイドラインの整備を要望（新規）
- ⑩ PTA 活動の意義について、外部委託の検討や、現在に相應しいあり方を一緒に模索するワーキングチームの設置の検討を要望

5 いじめや不登校の問題に関する要望

教育現場におけるいじめの未然防止、早期発見や発生後の対応などの重要性がこれまで以上に高まっております。いじめ防止に関する総合的な取り組みの実現のためにも、下記の事項を要望します。

（１） スクールカウンセラーの増配置（新規・継続）

- ① いじめの早期発見・早期対応、不登校とならないための相談や不登校生徒の対応にもあたるなどカウンセラーの業務が近年多事におよんでいる。また、生徒、保護者が必要な時にいつでも相談できる体制を望む声が例年各校より上がっている。カウンセラーの常勤、増員、勤務日数の増加、勤務時間の延長を要望。また、自校専任スクールカウンセラーの常勤配置を要望（継続）
- ② 学校生活サポーターの予算増額や環境整備を要望（新規）

（２） いじめ（新規・継続）

- ① 生徒達がいじめについて考えることの出来る機会を増やし、「いじめ防止プログラム」の内容のさらなる充実を要望（継続）
- ② ネットリテラシー教育の充実を要望（生徒・保護者向け）（継続）
- ③ いじめ問題についての専門スタッフの増員を要望（新規）
- ④ 学校の人間関係に悩む子どものため、クラス変動など柔軟な対応を要望（新規）

（３） 不登校（新規・継続）

- ① 「不登校」という表現方法の見直し（別の名称に変更）（新規）
- ② 子ども、保護者、家庭、学校と関わりのバランスをとりながら、協調性や自立心を養い、不登校生徒の学校生活への復帰、自分らしい進路の実現を支援する「ほっとスクール」の増設や相談窓口の拡充を要望（継続）
- ③ 不登校生徒への、オンライン授業などによる勉強面でのサポートを全校に一律で要望（継続）
- ④ 不登校生徒のため、各校に適応指導教室等の設置と教員の配置、増員を要望（継続）
- ⑤ 不登校生徒への柔軟な対応策（遅刻の扱いなど）を区で検討し、情報提供してほしい（新規）
- ⑥ ネットリテラシーの教育（保護者を含む）を要望（継続）
- ⑦ いじめ・不登校のケース事案の、できる範囲での情報共有を要望（継続）
また、起立性調節障害など不登校につながる症状への理解を深めるよう努めてほしい（新規）
- ⑧ 外部機関による専門的な支援を要望（継続）
- ⑨ 不登校問題についての専門スタッフの増員を要望（新規）

6 その他

(1) 携帯電話・タブレット端末に関するルールの設置（新規・継続）

- ① ネットリテラシーについて、統一された資料に基づいた生徒向けの啓発を要望（新規）
- ② タブレットの視聴時間などの制限を要望（継続）

(2) 教育について（新規）

- ① 各学校の評定（内申点）の判断基準、定期試験問題のレベルの統一化を要望
- ② 特別支援教育が東京都では原則1年なので区で補完してほしい
- ③ 検定（英検・数検・漢検）の受験費用の補助、区での開催を希望
- ④ 配付物の軽減（すぐーの積極的有効活用）を要望
- ⑤ 地域住民や企業などの様々な専門知識・能力を持った人材が授業などに関わることを、積極的に計画してほしい
- ⑥ インクルーシブ教育推進のための予算、人員の配置を要望

(3) 生徒の環境（新規）

- ① 生徒が気軽に自習や学習ができる、図書館やカフェのような場所を設置・増設し、学習サポートスタッフを配置してほしい
- ② スクールロイヤーへ相談しやすい環境整備を要望
- ③ ソーシャルスクールワーカーを身近に
- ④ 一人で過ごせる部屋や気軽に行ける部屋の設置を要望

(4) 給食（新規）

- ① 給食費無償化の継続、物価高への対応を要望
- ② 献立や内容について試食会などを行い、生徒・保護者の意見を取り入れる機会を要望
- ③ 太子堂調理場の全面的な見直し（衛生面・メニューなど）及び建替えを要望
- ④ 太子堂調理場の異物混入事案に対しての回答が不十分なので、現状の改善点や今後の対応などの詳しい回答を要望
- ⑤ 全校自校式給食の実施を要望

(5) その他（新規・継続）

- ① 学級閉鎖で修学旅行が中止・延期するなど予測不能の事態が発生した場合、キャンセル料などの実質的な支援を要望（継続）
- ② 学校の組織の見直し、人材の増員を要望（新規）
- ③ 教員の負担軽減を要望（新規）
- ④ 保護者対応のための第三者窓口の設置を要望（新規）
- ⑤ 標準服の減額、支援を要望（継続）
- ⑥ 公教育における格差を早急に是正するために、区内29校のインフラ項目をリスト化して【見える化】してほしい（継続）
- ⑦ PTA活動を実践するためのガイドラインを、教育行政機関主導により発信してほしい（新規）